

令和4年度 第1回 静岡市市民自治推進審議会 会議録

日 時 令和4年8月22日（月） 15時30分から17時15分まで

会 場 静岡市役所 静岡庁舎 本館4階 44会議室

出席者 【委 員】
小泉委員（会長）、土屋委員（副会長）、久保田委員、阪口委員、須藤委員、
田口委員、沼田委員、山崎委員（会長、副会長、以下五十音順）
10名中8名の出席により会議は成立（天野委員、松平委員欠席）

【静岡市】
企画課 企画課長、広域行政担当課長、政策企画・調整係長、
広域行政係長、主任主事
市民自治推進課 市民自治推進課長、市民協働促進係長、主査

議 事

- 1 委員委嘱
- 2 あいさつ
- 3 委員自己紹介
- 4 会長及び副会長の選出
互選により、会長に小泉委員、副会長に土屋委員が選出された。
- 5 事務局説明（市民自治推進審議会の役割等）
市民自治推進審議会の役割と関係条例の概要について説明。

6 議題

（1）第4次静岡市総合計画の策定について

【企画課】

～ 資料1に基づき、第4次静岡市総合計画の策定について説明 ～

【小泉会長】

ありがとうございました。ご意見があればご発言いただきますようお願いいたします。
発言前には、市民参画の手続きに対するご意見と、総合計画の中身についてのご意見
のどちらかを明確にさせていただきますようお願いいたします。

【阪口委員】

私からは、市民参画の観点でいくつか考えていることを伝えられればと思います。

まず、市民参画についてはワークショップやシンポジウムに多くの人を集めており、素晴らしい実績を静岡市が積んでいることを承知しております。

一方で、意見交換会については、働き盛りの方、会社勤めの企業の方々が参加する機会が少ないのかなと思います。

市長ミーティング室や、Voice of しずおかに時間をさける人が少なかったのかなと。

そういったサイレントマジョリティになりがちな人たちを、どう取り込むかを私も最近考えていたのですが、例えば、企業を通じた従業員アンケートという形で意見を募ると、回収率が良かったり、働き方・暮らしに関する話が聞けたりするのかなと思います。

あとは、平日の夜間開催のイベントがあれば、参加層が変わってくると思います。

情報発信について、LINEなどのSNSを活用する際は、短いメッセージで簡潔に伝える方が伝わりやすいと思います。

今はほとんどの層がスマートフォンを使っているので、片手で見る際には、長文より気軽に見られる方がよいと感じます。

次に、4次総に関する資料は、非常に重厚で、よく練られているとは思いますが、一度拝見した際、全世代に共通して「自分事にしづらい」のかな、と感じました。

市民が見たときに、自分の生活がどう変わるのか、が理解できるような内容にすると、自分の住むまちの今後を考えるきっかけになるのではないかと感じました。

【小泉会長】

ありがとうございました。計画書とは別に、計画が分かるように写真やイラストを使ってまとめられた「冊子」は、理解を深めるためにとても重要ですね。

その他意見はございますか。

【田口委員】

市民参画の手続きについて、データも裏付けもないのですが、キーとなる世代は、自分の子を育てる、地域の持続可能性に対して興味・関心が高い小中学生の親世代だと思います。

4次総策定に関する市民参画の取組についての説明をお聞きしていても、この世代の声を聴くのが難しいのかな、と感じました。

この世代の方々は、パブリックコメントやアンケートを実施してもスルーしてしまいがちな部分もあると思います。

現在、静岡市がコミュニティスクール構想に力を入れ、これまで接点のあまりなかったPTAの方々への歩み寄りが進んでいる中で、どのようにアプローチしていくのか、何か一步踏み出していただけると嬉しいです。

【久保田委員】

静岡市にずっと住んでいながら、こんなに立派な総合計画の冊子があることを知りませんでした。

私は学童支援員をしているのですが、周りの支援員は、この審議会や、自治基本条例のことを知りませんでした。

私はこの審議会委員になるにあたって色々勉強しましたが、一部の専門的な人たちだけが知っている、という今の状況を変えないといけないと思います。

興味が無い人にも広く見てもらえること、より多くの市民に興味を持たせることが重要だと思います。

【小泉会長】

そのような生の声は非常に貴重だと思います。

【山崎委員】

田口委員の意見に追随する形で発言します。

私の息子は今高校3年生で、今度卒業するのですが、私は、息子の部活などの地域活動を通して、静岡がよくなればいいなと活動をしていました。

来春息子が大学生になるので、計画を10年、15年計画とし、息子の子どものために、静岡市に何かできないかというようにミッションを変更しています。

一つ思うのは、子ども、教育・文化、スポーツについて、浜松はフットンバレー、東部はファルマバレーなど、各地の取り組みに色付けがありますが、中部にはそういったバレーの話がないことを不思議に思います。

文化・教育の分野で、静岡市がリーダーシップをとることができるのではないかと個人的に思っています。

例えば、高校・大学が連携していくときに、静岡大学さんがリーダーシップをとって静岡市と連携をしていく、そういった形を小・中学校に展開していくことをやっていただきたいと思います。

もしくは、4次総合もそうですが、静岡市は色が無いと感ずるため、何か1つ大きな色を作ってもらわなければならないと感じています。

各分野に興味を持っている層に、行政にも興味を持ってもらって、その方々の経験を活かすことができると良いと思います。

次に、静岡市の企業に何ができるかということに関して、子どもたちが「働くことは楽しい」と感じてもらうためには、我々大人たちが楽しく、元気に働いているところを子どもに見せることが必要だと思います。

企業の方々が、このような小中学生のキャリアパスに参画することができる仕組みを、行政を巻き込んで進めてほしいと思っています。

【須藤委員】

市民参画手続きに関して、先ほど総合計画の説明をしていただき、市民参画の機会

が色々あり、多くの方が市民参画できる機会が保障されているということがよく分かりました。

具体的な意見を交換する場として、経済団体や大学との意見交換がありますが、このような取組は元気な人々を対象にしたものとなっています。

障害を持った方や高齢者、子育て世代など、属性を絞った意見交換をすると、より多くの方々としっかりとした意見交換ができるのではないかと思います。

パブリックコメントに関しては適切な手続きを踏むべきだと思いますが、もう少し情報に対するアクセシビリティを高め、意見を出しづらい方々へフォーカスしてみるのもよいのではないかと感じました。

【小泉会長】

意見交換においては、フォーカスの仕方によって出てくる意見も違ってくるのかと思います。

【沼田委員】

この審議会は、市民自治がどう推進されているかを見て、より良くするためにどのようにしていくのかアイデアを出すものかと思っているのですが、改めて確認させてください。

【小泉会長】

市民自治がより良くなるためのお知恵を出していただくのが一番ですが、そこまでいかなくとも、問題点の指摘をすることもこの審議会の役割です。

他にも色々役割はありますが、主にはそのような内容かと思います。

【沼田委員】

4次総だけでなく他の施策もそうですが、何か進めようとするすると反対派の方々から強く反対されることも多くあります。

それを委員である我々はどう受け止めたらよいのか、が気になるところです。

【小泉会長】

反対運動ももちろん市民自治であって、問題提起を市民が自主的にやるということは結構なことです。

推進派は意見をあまり出さないという面もありますが、反対派の運動を見て、何かが動いている、と興味を持ってくれる人が増える場合もあります。

何も意見がない、波一つ立たない状態が良いわけではなく、色々なことが起こっている状態、様々な人が関心を持って活動している方が、行政は大変ですが、いい方向に向かうと思います。

【沼田委員】

総合計画について先ほど説明をしていただいて、よく理解できました。総合計画の話は大きな話なので、自分で資料を見るのはかなり体力が必要なので、10分、20分の動画で見ることができるようになると良いと思います。

【企画課】

4次総がどのようなものか、という説明の動画を新たな取組として考えています。

【沼田委員】

完成された総合計画に対する説明の動画ということでしょうか。
それでも良いと思います。

【小泉会長】

完成したものに対してよりも、作成段階のものに対しての方が、意見しやすいと思います。

総合計画についても、「こんなことをやっています」というように、検討段階について動画にできないものか、と個人的に思います。

【土屋委員】

皆様のご指摘されたように、声が出てこない人というのはやはり沢山いて、肯定してくれている人もいれば、アクセシビリティの問題を抱える人や、関心の無い人といった方々もいます。

また、多くの方は目立ちたくなくて、集団の中で何か発言をするということは勇気の要ることであるため、意見を言う人はいつも決まっているような状態によく陥ってしまいます。

こういった声が出ない方々からの意見をどう掬い上げるかを検討することが大切だと思います。

【小泉会長】

資料5ページについてですが、市政運営の基本認識については、行財政改革推進審議会でも議論させていただいていて、特に、「人とつながる」という部分はまさに市民参画ということで基本認識として出させていただいて大変ありがたく思っています。

また、基本構想だけでなく基本計画も議会の議決を経るということですが、基本計画については各常任委員会の審議で様々な意見をいただいたうえで、本会議の議決までは経ないで、市長の責任で策定するという方法もあり、そのようにしている自治体もございます。

個人的には、基本計画に「しなやかさ」を持たせるという意味では、議決まではとる必要はないのではと思います。これはただの意見なので、必ずそうすべきという

ものではありません。

また、先ほどもお話にあがりましたサイレントマジョリティの市民意見については、集まってください、と言ってもなかなか集まってくれないので、聞き取りにいかないと意見を得ることができないと思います。

また、聞き取りは企画部門の人が行くのではなく、日々の業務にも活かすことができるため、関係する部署が直接行くことが良いと考えます。

【市民自治推進課】

～ 資料2（2-1～2-7）及び資料3に基づき、令和3年度市民参画手続の実施状況等について説明 ～

【小泉会長】

まずは、パブリックコメント等をやっている、ということを広く周知することが大切なのだと思います。

ご説明に対し、何かご意見ございますか。

【田口委員】

2-2の資料を拝見しますと、こんなに色々な分野でパブリックコメントをやっていたのだと驚きました。

パブリックコメントをやっているという周知も大切ですが、結果がどうなったか、検討の過程はどうだったか、どのような意見が出て、それに対してどのように議論されたのかなど、透明性を今以上に持たせることで、興味を持ってもらえると思います。

反対派の声が出てきやすいという話が先ほどありましたが、どういう意見が出たのかという透明性が出てくると、推進派の人たちも声を出すようになるのではないかと思います。

出てきた意見や、それに対する議論をどのように見せるのかについても、検討していただきたいと思います。

【小泉会長】

パブリックコメントは、募集中でも他の人の意見を見ることができるのでしょうか。

【市民自治推進課】

基本的にはできません。

【小泉会長】

今のパブリックコメントは、意見募集期間が終了した後、出てきた意見に対してどのような対応をしたかを公開していますが、募集期間中も、SNSのように出ている

意見を他の人も見る事ができれば、今以上に議論が白熱するかもしれません。

【田口委員】

そこまでは大変かと思いますが、意見募集期間後の発表において、どのような議論がなされたか、今以上にわかりやすく公開してもらえたらと思います。

【須藤委員】

一つ質問なのですが、審議会のみに行っているものと、パブリックコメントと審議会の両方やっているものがありますが、審議会のみに行っているものは制度上の約束があるのでしょうか。

【市民自治推進課】

原則はパブリックコメントを実施することとなっているのですが、パブリックコメントを実施せず、他の方法に代えることができる場合というのは、条例で定めておまして、運用としては、計画の策定・変更ではなく、進捗管理に係るものなどについては、審議会等の方法に代えることができるものとしています。

【須藤委員】

資料2-1の表3に関連して、ここ数年はコロナ禍により意見交換会等が実施できないような状況があったかと思いますが、コロナ禍であっても、市民参画手続きの機会が失われないような方向性とかがあったのでしょうか。

【市民自治推進課】

大きな方向性を定めたわけではありませんが、コロナ禍において対面で集まりづらい状況があったので、オンラインでの意見交換会や、書面による審議会を実施するなど、それぞれの案件で何らかの代替案を検討し、実施しています。

【須藤委員】

オンラインは非常に便利ですが、できる人とできない人がいるということもこの数年で分かってきています。

その中で、市民参画できる機会が失われてしまっている人たちがいるということは気になっています。

致し方ない部分もあるかと思いますが、オンライン会議が浸透してきた今でも、それらを扱えない方々へのアプローチも考検討していただきたいと思います。

【小泉会長】

パブリックコメントの実施時期について、一部12月～と遅い時期となっているものがありますが、計画が固まった段階で実施するため、このようになっているのかと思います。

内容が固まる前の時期においてパブリックコメントを募集して、意見を聞いていかないと、意見を検討して計画等に反映することが難しいと思います。

どこの自治体もそのような状況かと思いますが、意見を反映し、計画等を変えていくためにパブリックコメントを実施するので、計画等の骨格が見えてきた段階で募集をかけるなどして、期間を最低一か月は確保することが望ましいのではないのでしょうか。

ここで時間となりました。以上で本日予定されていた議題等は終了となります。ありがとうございました。

署名 静岡市市民自治推進審議会

会長 小泉祐一郎